

年間指導計画を見直す際の参考資料

中学校 第2学年 「外国語（学校図書）」

◆新出言語材料、表現（◇は既習）

98時間（70%）

週	言語材料	単元名	小単元名	時間数	留意点
1	◆語彙 ◇既習事項の 総復習（1年）	1 Pre-lesson	①A	1	・新出語彙の確認、本文理解を行う。
		Spring Vacation	②B	1	・語彙、文法の定着を図る言語活動を行う。
		2時間			
2	◆語彙 ◆過去形 (be動詞) ◆S+V (be動詞以外)+C (形容詞)	2 Lesson 1	①1A	4	新出言語材料の学習（知識）と活用する言語活動（技能）を中心に行い、本文はQ&Aなどで概要を把握させる。
		A Practice at a Sumo Stable	②1B		
			③1C		
		7時間	④Review1	1	家庭学習も含め、Reviewに示されている活動を行う。
			⑤Review2	2	領域統合型の言語活動に取り組む。
			⑥課題解決のための言語活動		
3	◆語彙	3 Word Tree	①語彙の理解、活動	1	語彙、表現の定着を図る活動を行う。
		家族・親類			※辞書の使い方は年間を通して行う。
		1時間			
3	◆語彙 ◆過去進行形 ◆複文 (接続詞 when) ◆S+V+O (that節)	4 Lesson 2	①2A	4	新出言語材料の学習（知識）と活用する言語活動（技能）を中心に行い、本文はQ&Aなどで概要を把握させる。
		Gestures	②2B		
			③2C		
		7時間	④Review1	1	家庭学習も含め、Reviewに示されている活動を行う。
			⑤Review2	2	領域統合型の言語活動に取り組む。
			⑥課題解決のための言語活動		
4	◆語彙 ◆There+be動詞+～	5 Action	①新出言語材料の理解	1	新出言語材料の理解と定着を図る言語活動を行う。
		どこに何がある？	②言語活動	1	
		2時間			
5	◆語彙 ◇既習事項の 総復習	6 Project	①語彙、本文など	1	新出語彙の確認、本文などの理解を行う。
		日記を書こう	②言語活動	3	語彙、文法の定着を図る言語活動を行う。
		4時間			※Check It Outの内容にも触れながら行う。
6	◆語彙 ◆未来表現	8 Lesson 3	①3A	5	新出言語材料の学習（知識）と活用する言語活動（技能）を中心に行い、本文はQ&Aなどで概要を把握させる。
		Flight to the U.K.	②3B		
			③3C		
		8時間	④3D	1	家庭学習も含め、Reviewに示されている活動を行う。
			⑤Review1		
			⑥Review2	2	領域統合型の言語活動に取り組む。
7	◆語彙	9 Word Tree	①語彙の理解、活動	1	語彙、表現の定着を図る活動を行う。
		天気			
		1時間			
8	◆語彙 ◆助動詞表現	10 Lesson 4	①4A	5	新出言語材料の学習（知識）と活用する言語活動（技能）を中心に行い、本文はQ&Aなどで概要を把握させる。
		Hiro in the U.K.	②4B		
			③4C		
		8時間	④4D	1	家庭学習も含め、Reviewに示されている活動を行う。
			⑤Review1		
			⑥Review2	2	領域統合型の言語活動に取り組む。
		8時間			
			⑦課題解決のための言語活動	2	領域統合型の言語活動に取り組む。

9	◆語彙 ◆道案内場面 特有の表現	11 Talking Time 道案内 2時間	①語彙、本文など	1	新出語彙の確認、本文などの理解を行う。
			②言語活動	1	語彙、表現の定着を図る言語活動を行う。
10	◆語彙 ◇既習事項の 総復習	12 Project 旅行の計画を立てよう	①語彙、本文など	1	新出語彙の確認、本文などの理解を行う。
		13 Check It Out③④ 4時間	②言語活動	3	語彙、文法の定着を図る言語活動を行う。 ※Check It Outの内容にも触れながら行う。
11	◆語彙 ◇既習事項の 総復習	14 Reading 1 English for International Communication 2時間	①語彙、本文	2	新出語彙の確認、本文理解を行う。本文はQ&Aな どで概要を把握させる。
		15 Lesson 5 Career Experience 7時間	①5A ②5B ③5C ④Review1 ⑤Review2 ⑥課題解決のための言語活動	4 1 2	新出言語材料の学習（知識）と活用する言語活動 （技能）を中心に行い、本文はQ&Aなどで概要を 把握させる。 家庭学習も含め、Reviewに示されている活動を行 う。 領域統合型の言語活動に取り組む。
12	◆語彙 ◆to不定詞 副詞用法(原 因)	16 Action こんな気持ちになっ たわけ 2時間	①新出言語材料の理解 ②言語活動	1 1	新出言語材料の理解と定着を図る言語活動を行 う。
		17 Lesson 6 The 3Rs in Germany and Japan 7時間	①6A ②6B ③6C ④Review1 ⑤Review2 ⑥課題解決のための言語活動	4 1 2	新出言語材料の学習（知識）と活用する言語活動 （技能）を中心に行い、本文はQ&Aなどで概要を 把握させる。 家庭学習も含め、Reviewに示されている活動を行 う。 領域統合型の言語活動に取り組む。
13	◆語彙 ◆動名詞 ◆S+V+O+O ◆疑問詞 why	18 Talking Time 電話でおしゃべり 2時間	①語彙、本文など ②言語活動	1 1	新出語彙の確認、本文などの理解を行う。 語彙、表現の定着を図る言語活動を行う。
		19 Project 将来の夢 20 Check It Out⑤⑥⑦ ⑧ 4時間	①語彙、本文など ②言語活動	1 3	新出語彙の確認、本文などの理解を行う。 語彙、文法の定着を図る言語活動を行う。 ※Check It Outの内容にも触れながら行う。
14	◆語彙 ◇既習事項の 総復習	21 Reading 2 Red Demon and Blue Demon 2時間	①語彙、本文	2	新出語彙の確認、本文理解を行う。本文はQ&Aな どで概要を把握させる。
		22 Lesson 7 World Heritage Sites 7時間	①7A ②7B ③7C ④Review1 ⑤Review2 ⑥課題解決のための言語活動	4 1 2	新出言語材料の学習（知識）と活用する言語活動 （技能）を中心に行い、本文はQ&Aなどで概要を 把握させる。 家庭学習も含め、Reviewに示されている活動を行 う。 領域統合型の言語活動に取り組む。
15	◆語彙 ◆同等比較 (形容詞、副 詞) ◆副詞の比較 級と最上級 ◆複文(接続 詞 if, because)	23 Lesson 8 Manga, Anime and Movies 7時間	①8A ②8B ③8C ④Review1 ⑤Review2 ⑥課題解決のための言語活動	4 1 2	新出言語材料の学習（知識）と活用する言語活動 （技能）を中心に行い、本文はQ&Aなどで概要を 把握させる。 家庭学習も含め、Reviewに示されている活動を行 う。 領域統合型の言語活動に取り組む。

19	◆語彙 ◆体調を尋ねる場面特有の表現	24 Word Tree	①語彙、本文など	1	新出語彙の確認、本文などの理解を行う。
		病気・けが	②言語活動	1	語彙、表現の定着を図る言語活動を行う。
		25 Talking Time 体調を尋ねる 2時間			※関連する題材のため統合して扱う。
20	◆語彙 ◇既習事項の総復習	26 Project	①語彙、本文など	1	新出語彙の確認、本文などの理解を行う。
		私の宝物	②言語活動	3	語彙、文法の定着を図る言語活動を行う。
		4時間			
21	◆語彙 ◇既習事項の総復習	27 Reading 3	①語彙、本文	2	新出語彙の確認、本文理解を行う。本文はQ&Aなどで概要を把握させる。
		Mother Teresa			
		2時間			
21	◆語彙 ◇既習事項の総復習	28 Project	①語彙、本文など	1	新出語彙の確認、本文などの理解を行う。
		観光パンフレットを作ろう	②言語活動	3	語彙、文法の定着を図る言語活動を行う。
		29 Check It Out⑨⑩⑪ 4時間			※Check It Outの内容にも触れながら行う。

※時間数の精選方法（例）

○単元内での時数の調整

各単元のA～Cの小単元では教科書の本文理解をQ&Aなどで効率よく要点をつかむとともに、新出言語材料についてはしっかりと理解する。

○単元間での時数の調整

各単元で解決する課題を設定し、必要な言語材料、表現を指導することが単元構想の基本であるが、授業時数圧縮のため、二つの単元を統合した課題を設定し、言語活動を行うなどの工夫をしてもよい。

<例> Lesson8では単元の課題解決として行う言語活動に時間をかけたいため、Lesson7から1時間分を差し引き、Lesson8を8時間計画で行う。

○複数のコーナーを統合した課題（言語活動）の設定

「Check It Out」などのコーナーは「Project」と統合し、言語活動に向けた復習として扱う。

○本文や「Reading」の指導ポイントの焦点化

すべての英文を日本語にするのではなく、Q&Aなどで内容や要点を把握し、思いや考えたことを伝え合う言語活動にするとともに、指導するポイントの焦点化を図る。

○感染症予防策を踏まえた学習活動

音読や語彙の発音確認など、全員で声を出す活動はマスクを着用し、小声で行うなど飛沫が飛ばないように工夫をする。また、ペアワークでは適切な距離を保ち、同じ方向を向いてコミュニケーションするなどの配慮をする。グループワークでは、密な状況にならないよう座席配置を工夫し、活動も長時間にならないよう配慮する。

※Bridge（文部科学省補充資料）について

○令和3年度から使用される教科書には新たに追加される文法事項がある。

・1年次には「感嘆文」を扱う教科書がある。関連する題材は扱うようにする。

・2年次には「現在完了進行形」「原形不定詞」「主+be動詞+形容詞 that～」を扱う教科書があるため、関連する題材は計画的に扱うようにする。